

# せん

発行元 神奈川県平塚市寺田繩 265-1  
社会福祉法人 至泉会  
代表者 辻 隆造  
編 集 清水 行夫 今井 ゆき  
佐々木美穂 南里 慎平  
星野 未来 南川 直子  
ホームページ <https://shisen.or.jp/>

第7号

2021.09 発行

待すること」という表題で話があり、その後、常務理事から「法人の理念組織、人事考課」、「職員倫理綱領」、「障害者虐待防止」、「就業規則や給与規程等の諸規程」等について説明があり、当法人の職員としての第一歩を踏み出しました。入職者の経歴は様々ですが、どの職員も利用児・者、家族のニーズに添えるよう毎日頑張っています。慣れるまで少し迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、温かく見守ってくださいます。ようお願いいたします。

なお、昨年度機関誌を発行できなかつたため、令和元年度に中途採用した職員及び令和二年度に採用した職員、令和二年度及び三年度に異動した職員も併せて掲載します。

令和三年度  
新採用職員

兒童指導員  
管理栄養士  
調理員

まだまだ制約が多い生活中で少しだけ前向きになれるようなことを各施設の利用者、家族、職員に書いてもらいましたので、ご覧いただければと思います。

栗田	松本	高木	庄司	松本	栗田
想太	和平	航平	航平	想太	佳奈
三野	及川	松井	高木	三野	三野
圭介	夢実子	詩織	ソーレ	渡邊	すこや
彩子	平塚地域支援センター	支援員	支援員	山崎	本間
麻紀	支援員	支援員	支援員	久美子	久美子
直子	看護師	支援員	支援員	園	川部
支援員	支援員	支援員	支援員	園	南川

今号のテーマ

◇すじやか園  
（せんさくじやかん）  
課長代理 春木 誠  
（かじょうだいり はるき もとる）

◇すじやか園  
（せんさくじやかん）  
課長代理 加藤 尚通  
（かじょうだいり かとう ひろみち）  
（ソーシャル平塚地域支援センターより）

令和二年四月一日付  
◇精陽学園  
主任・兒童指導員 星野 敬義  
(ソーレ平塚より)  
主任・生活支援員 渡部 和宏  
(精陽学園より)  
令和三年四月一日付

令和三年度  
辞令交付式・新採用職員研修

令和元・二年度  
新採用職員

令和二・三年度人事異動

表彰

## 【法人永年勤続表彰者】

昨年度に引き続き今年度も新型コロナウイルスの影響で法人永年勤続者表彰式は行いませんでした。が理事長が各施設へ出向いた。当法人では勤続年数の長い職員が増えてきていますが、今後も法人として業務の改善や職場環境を整え、一人でも多くの職員がやりがいを持ち、長く働くことができるよう努めていきたいと思います。

なお、昨年度機関誌を発行できなかつたため、令和二年度に表彰された職員も令和二年度に表彰された職員と併せて掲載します。

勝山 靖史	(ソーレ平塚)	稻毛 彩乃	(あけぼの園)
佐藤 智宏	(ソーレ平塚地域支援センター)	山崎 朋子	(あけぼの園)
矢野 健作	(すこやか園しせん相談室)	遠藤 竜司	(精陽学園)
市川 由美	(あけぼの園)	吉永 流香	(精陽学園)
勤続十五年(令和二年度)	三浦 郁夫	福島 風子	(精陽学園)
渡部 和宏	(ソーレ平塚)	佐々木 美穂	(精陽学園)
青木 智矢	(ソーレ平塚)	佐々木 京子	(精陽学園)
勤続十五年(令和三年度)	水野 実佳	水越 明美	(ソーレ平塚)
平田 良介	(精陽学園)	水越 明美	(ソーレ平塚)
重野 美樹	(すこやか園しせん相談室)	藤原 雄三	(すこやか園)
南川 直子	(すこやか園)	木村 なつみ	(すこやか園)
勤続十年(令和三年度)	藤原 雄三	(すこやか園)	(すこやか園)
高橋 由佳	(精陽学園)	木村 なつみ	(すこやか園)
古尾谷 一宏	(ソーレ平塚)	(すこやか園)	(すこやか園)
笠川 裕子	(ソーレ平塚)	永年勤続者県知事表彰	(神奈川県社会福祉関係者等)
関 淳一	(すこやか園しせん相談室)	令和二年度	
勤続十年(令和三年度)	福井 朱美	(法人本部)	
福井 麻衣子	(ソーレ平塚)	星野 敬義	(精陽学園)
杉谷 りつ子	(ソーレ平塚)		
岡本 千秋	(ソーレ平塚)		
勤続七年(令和二年度)			

【神奈川県  
社会福祉協議会会長顕彰】

高橋 由佳 (精陽学園)	小江 慎二 (ソーレ平塚)	青木 智矢 (ソーレ平塚)	笹川 裕子 (ソーレ平塚)
【秦野市社会福祉協議会会長表彰】	三浦 郁夫 (あけぼの園)		
寄付			
法人へ次の皆様にご寄付をいたしました。ありがとうございました。			
いました。			

大石 哲 様  
菊川 恭一 様  
中村 伸二 様  
（順不同）



## 理事長あいさつ

『私たちの  
新型コロナウイルス  
体験記録』

社会福祉法人 至泉会 理事長 辻 隆造

### 【はじめに】

日本国内のみならず、世界中に広がる新型コロナウイルスパンデミックのまつた中にある私たちのこの稀有な経験を思い返し、記録してみることにしました。

原稿を書いているこの時、法人内の施設利用者や居住者、また、職員に感染者は出でいません。しかし、かなり身近に、家族やその職場に陽性者が出了ことは確認されており、すぐそこまで近づいて来ているのを日々感じながら生活しているのが切実な実感です。

### 【コロナウイルスとの出会い】

私が最初に感染を身近に思えた出来事は、二〇二〇年一月一日に報道されたダニアモンド・プリンセス号の船内感染でした。横浜港に帰港してからの毎日の報道で、初めは優雅な船旅を楽しむ人達への憧れとうらやましさが一転、親戚の友人が一組も乗船しており、携帯電話で毎日励ましていたことを知るにつれ他人事ではない思いがわき、感染することもなく下船できることを知り安堵しました。それからしばらく経った（一月十五日、あるコンサートでの出演者との握手会に並んだ人達のアルコールによる手指消毒

が行われるのを見た瞬間から、帰宅時の交通機関も人込みを避けて乗車し、この

日の夕食に家族で入った回転寿司が最後の外食になってしまいました。四月七日の緊急事態宣言は、戒厳令的な緊迫感を私たちに抱かせ、今に至っています。

### 【各施設での対策の検討】

法人内の各施設がそれぞれに対策を検討していましたが、他の施設への出入りが制限されており、ソーレ平塚（成人入所）・ソーレ平塚地域支援センター（成人通所）・法人本部での体験を中心記してみます。（ここは同一建物内であるこ

とから、感染防止対策会議を共同で毎週

行い、共通の課題、個別の課題について共有し、利用者・職員とその家族・関係施設・関係機関での様々な状況のシミュ

レーションと国・県・市等からの要請にどの様に対応すべきかの協議をし、職員、利用者、外部からの訪問者には毎日の検温が行われるようになり、現在も継続しています。

この間、利用者のPCR検査や職員や

家族に感染の疑いが複数回出ることがあり、その都度利用者と関係者に情報提供し、検査結果が判明するまでは休業するなど、入所居住者と通所利用者に多くの不便と心配をかけることになりました。

### 【施設内外での行動制約】

日を追うごとに施設内で多くの行動に制限を行わざるを得ない状況になりました。

た。

・居住者・利用者

入所・通所での施設内活動の制限（音楽活動・運動・陶芸・七宝・書道等）が合同で行われることが無くなり、多数の人の接触を避けるため移動範囲も限られたエリアになり、外出や買い物も大きく制約を受けました。施設内への訪問販売も外部の感染状況に影響され、施設内外での買い物が時に出来なくなりました。

入所者は、家族との面会も頻度が少なくなり、飲食も行わないようにお願いしました。

### ・職員

入所・通所の職員は出来る限り接点を無くし、合同で行われていた打ち合わせや会議も中止にするカリモートに切り替えるようになりました。職員は、関係機関との会議や協議も出来なくなり、研修に至っては内部外部ともほぼ無くなりました。

いものです。

我々の仕事に無くてはならない利用者や家族の表情や何気ない会話で行われるコミュニケーション、体調の優れない時は気の進まない打ち合わせや会議、時に無理して参加した職場の飲み会等すべての日常の大切さを改めて感じている日々の作業がなされ、職員の本来業務に充てるべき時間のかなりの部分を費やすことになっています。

### 【おわりに】

竹内まりや『いのちの歌』に「本当にだいじなものは隠れて見えない ささやかすぎる日々の中にかけがえない喜びがある」との詩が胸に響きます。

日本人に留まらず、世界中の人々が共に有している経験が、この先に活かされることを心から願います。

## 【感染防止用物品の不足】

マスク・騒動に代表される関連物品の不足は長い間続き、感染者が出た場合の対応にさらなる不安要素となりました。マスク・ガウン・プラスチックグローブ・フェースシールド・アルコール・非接触性体温計等でした。職員の日常生活にも、紙類の買いだめの影響が出たり、小麦粉が店頭から消える等不安な日常生活になりましたことは共通の問題でした。

# あけぼの園

～コロナが収束したら～

保育士 村上 郁未



沖縄にいきたい！高校の修学旅行で沖縄に行き、どっぷり沖縄にはまりました。それからほぼ毎年行っていたのに…だから、有名どころにはいきません（笑）山に登つてみたり、滝に行つてみたり、四輪バギーでジャングルの中を走り抜け、現実逃避をするんです。

それから、ほっともつと地域限定のお弁当、地元のスーパーを巡つてジーマミー豆腐探し（地元の人が手に取るジーマミー豆腐を真似して買つ）、これを書いているだけでウズウズしています。早く行きたい！！！だから、消毒用スプレーは三本持ち、帰宅したらすぐにお風呂に入り、自分なりにコロナに負けないように対策しています。そして、今は気にせず旅行に行くようになる日が早く來ることを願いながらネットでマニアックな沖縄の情報を集めています。将来的には移住したい（現実には無理です）って思つてますー。

～コロナが収束したら～

# ～コロナが収束したら～

保育士 高梨 理奈



私は超インドア人間で、コロナ以前から外に遊びに行く機会がほとんどありません。スマホさえあれば苦痛なく生活でき、休日はアイフォンの万歩計が十八歩しか記録されなかつた…なんていう日がざらにあります。

そんな私が唯一コロナの収束後やりたいことが、『友人と家で映画を見ながらお酒を飲む』です。

「緊急事態宣言が解除されたら会おう。」「もう少し感染者数が落ち着いたら会おう。」「また宣言が出るから延期にしよう。」「こんなやり取りを」の一年繰り返しました。

世間では「マスク会食」などなど言われています。早く行きたい！！！だから、消毒用スプレーは三本持ち、帰宅したらすぐにお風呂に入り、自分なりにコロナに負けないように対策しています。そして、今は気にせず旅行に行くようになる日が早く來ることを願いながらネットでマニアックな沖縄の情報を集めています。将来的には移住したい（現実には無理です）って思つてますー。

～コロナが収束したら～

# ～コロナ禍で見つけたもの～

児童指導員 山崎 明子



コロナ禍で始めたのが、中学生になる娘とのお外ランチ。自粛生活で、すっかりコーチューブ漬けになつてしまつた娘を強引に連れ出して、休日のたびに海や公園に出掛けています。学校のこと、好きなアイドルやアニメのこと…家では、あまりする機会のない話を永遠とした後、砂浜で貝を探したり、スケッチをしたり（娘がアニメオタクなので！）しています。

娘と過ごす豊かな時間は、コロナ禍で見つけた大切な宝物。コロナで失ったものを数えたらきりがないけれど、おかげで…？見つけたものも沢山あるな…と思うのです。コロナが終わつたら、じに一番に行こうかと討論会になるのもまた愉し。（温泉にするか、ラーメンか焼肉か。本気で悩みます。）

以上、どんな時でも『嬉しい』を見つける心を忘れないでいようと、コロナ禍のつまやきでした。

～コロナが収束したら～

# ～コロナが収束したら～

児童指導員 有松 一衣



私がコロナが収束したらやりたいことは、仕事面においては子ども達と一緒に給食を食べる事です。今でも同じ席につき給食介助は行つているものの一緒に食べていないので子ども達と一緒に海や公園に出掛けている。学校のことで、好きなアイドルやアニメのこと…家では、あまりする機会のない話を永遠とした後、砂浜で貝を探したり、スケッチをしたり（娘がアニメオタクなので！）しています。

プライベートでは三重県にいる長男に会つに行きたいです。現在長男は三重県の薬局で働いておりコロナでマスクが不足した時には私の北海道の実家にマスクを送ってくれたりしました。コロナが流行する前は長女と一緒に会いに行き何故か皆でプリクラを撮り変顔をしたり写真に変なコメントを書いたりくだらない事をして盛り上がるのが恒例でした。今はそれも出来ずとも寂しいです。また、長男夫婦はコストで買い物をするのが好きでよくお嫁さんがコストコで行方不明になるとお酒をたくさん飲んで、「コロナ大変だったよね」と大笑いしながら話していました。

## ～コロナ禍の工夫～

理学療法士 藤井 香菜子



## ～マスクのない未来のために～

保育士 藤村 美里



## ～山に登る～

児童指導員 穂坂 直哉



## ～コロナが収束したら～

精陽学園 児童一同

精陽学園の子ども達にも、今回のテーマについて聞いてみました。

「コロナ禍の生活で気を付けている事は…」  
マスクを付ける、手洗いうがいをしっかりとやる。ところ答えがほとんどでした。

初めてコロナを知った時、今のマスク生活になるとは思いもよらませんでした。

コロナ禍の工夫として、体温を測る際は、基礎体温にして自分自身の体調の変化がより理解できるようにしています。実際、大きく体調は崩してなくても、少し疲れているのかな」と、自身の身体を気遣うことが出来る様になりました。

また、人と会うことや外出が制限されたため、ランニングや自炊することで日々の生活にハリを出す工夫をしました。

「ランニング仲間とお互い何km走ったかを報告したり、月の総距離目標を掲げたりして継続させました。五〇kmから始め、一〇〇kmまで達成しました。達成感がありすぎたのか今年に入りお休みしていますが、また開始したいと思っています。

新しい生活様式の中で、上記の様なア

最初、インフルエンザのように気を付ければ大丈夫だろと軽い気持ちでした。徐々に感染者や重症者が増え、今までの感染症と違い予防や対策が重要だと思つようになりました。

コロナ前は旅行、友人に会う、フェスや謎解きが好きで色々と外出していました。現在私の行っている対策は帰つたり手洗い、すぐに着替える、アルコール消毒必須、なるべく公共交通機関を使用しないように努めています。

リモート飲み会にも挑戦したり、旅行番組を観る機会が増えました。いつかコロナが終息したら…と思い、気になった観光地、食べてみたいご当地食材をチエックしています。その為、私の携帯には行きたい場所、やりたいことリストがたくさんあります。

マスクのない未来のために一人ひとりの意識を変えることが早く元の生活に戻れる近道なのだと考えます。リストの実現を楽しみに日々頑張りたいです。

山に登る。田名山のような有名な山には行かない。近隣のところより自家の裏にあるみかん畑の広がる農業用の山。人とほとんど会わない。海岸から長く連なる丘陵なので奥行きがあり、歩く度に発見がある。畑ではない広葉樹の林の中には狸の糞だまりがあったり、猪が餌を掘り返した跡が見られたりと自然を感じる機会もありなかなか楽しい。有名な山々には眺望で労るものの、それでも晴れた日は透き通るような景色を独り占めできる。

そして山でのカップ麺は旨い。中性脂肪は判定Bだがやめられない。心配して下さる上司には申し訳ないがやめられない。いつもシーフードヌードルB-Gを食べています。ごめんなさい。

「コロナ禍、様々な制約がある。今までできていたことが出来ない。でも、今までと同じ場所で同じことをする必要はない。ちょっと目線を変えるだけで、今まで気がつかなかった所に楽しみがある。百名山である必要はない。裏の山で十分。そこに魅力的な景色や命、ついでにカロリーと塩分が溢れています。

一日も早く、元の生活に戻ることを祈っています。

# ソーレ平塚

～コロナ禍が明けたら やりたいこと～

生活支援員 青木 智矢



入居者 鎌倉 晓美

入居者 上城 史高



～コロナが終息したらしたいこと～

家族 上城 知江子

～コロナ禍で改めて思う事～



～コロナが終息したら～



それは新型コロナウイルスが流行する前の生活をしたい。コロナが流行したことによって、子どもたちの生活に大きな制限が出てしまった。学校が長期で休み、運動会の中止、習い事の中止、気軽に遊びへ出かけることさえ、出かける場所を制限せざるを得ない。

外出する際は、常にマスクをして生活する。子どもにとって何気ない当たり前の活動が出来ないでいる。私には三人の子どもがいる。この子たちがコロナによって経験や体験が削られてしまつた分、コロナ禍が明けたら、新しい体験や経験の時間を与えたいと考えている。かといって具体的に何をさせたいというものはない。終息する気配がないコロナ。我々の生活を一変させた憎きコロナ。我々はコロナと共に生きなければならぬのだろうか。

ここまで真面目に語ってきたが、簡単に言うと、周りのことを考えず気軽に遊びたい。遊ばせたい。私は外でお酒が飲みたい。

～コロナ禍で改めて思う事～

それがソーレ平塚に入所してから二年

最初のうちは、対岸の火事だったコロナも気が付けば国内どころか世界中に感染拡大し、新型も発生し、他人事ではない事態の終息を一日でも早くと願つばかりです。

私たち入居者も県内の対策に併せて外出制限や面会制限等ありました。それでも問題なく過ごすことが出来るのも、偏に職員さんを中心とするソーレで働く方々が、先ず御自身が感染しないよう心掛けて頑張っているおかげだと思います。

～コロナが終息したら～



西湘バイパスの上にかかる歩道橋から一緒に富士山を見ましょう。兄は二〇一九年、父が亡くなつたすぐ後からソーレにお世話をになりました。以前、時々していた散歩は、支えながら杖でやつと歩いて行つていました。汗をかくので途中でアクエリアス。歩くと頭も働くのか話も弾み、のんびり楽しい時間でした。

母や姉と四人でお墓参りも行きました。父のお墓からは、丹沢と富士山が見えます。

お墓参りのあとは、回るお寿司に行きましょう。つかのほうがいい、と兄が言つたら、手巻き寿司もいいかもしれません。おいしそうな中トロ、かんぱち、鰯など지를力の地下で買って、お造りにして。兄の好きなウニ、紫蘇の葉や卵焼きも忘れずに。

兄は本屋に行きたい、というかもしれません。そしたらサクラ書店にも。行きたいといふのも、したいこともたくさんあって、考えただけでうきうき

年以上が経ちました。

～コロナが終息したら～

私がソーレ平塚に入所してから二年

程の月日が経ちました。その前はケアセンターを長年利用させていただいておりました。

以前からケアセンターの活動の一環である「コーロニアチャーチ」に参加することが好きで、よく活動に参加していましたが、大きな声を出したりすることができなくなつてしましました。仲間の歌を聞くことも好きで、そのような機会が失われていることをとても残念に思いました。母や姉と四人でお墓参りも行きました。父のお墓からは、丹沢と富士山が見えます。

お墓参りのあとは、回るお寿司に行きましょう。つかのほうがいい、と兄が言つたら、手巻き寿司もいいかもしれません。おいしそうな中トロ、かんぱち、鰯などを지를力の地下で買って、お造りにして。兄の好きなウニ、紫蘇の葉や卵焼きも忘れずに。

兄は本屋に行きたい、というかもし

れません。そしたらサクラ書店にも。行きたいといふのも、したいこともたくさんあって、考えただけでうきうき

いつも、ありがとうございます。

～コロナが終息したら～

それでも、コロナ禍であつてもなく

でも私たちは常に職員さん方の助力があつてこそ成り立つものと認識を新たに、感謝の念に堪えません。

みなさんもコロナには負けず、お体

# ソーレ平塚地域支援センター

センター長 島田 哲



新型コロナウイルスへの対応が始まつてから一年半が過ぎようとしています。誰もが不安を覚える得体の知れないウイルスに、ケアセンターも活動を一変せざるを得ませんでした。基本的な感染予防対策に加え、少人数グループでの部屋を分けての活動、個別で行える制作活動、近隣への散歩等を増やし、ローリングバレー、ボッチャなどの集団の活動は控えました。また、入所施設であるソーレ平塚との接触は最大限避けるように努めました。入所施設はクラスターが発生しやすい環境にあるので、より注意をして出来ることを最大限取り組みました。

新型コロナウイルスの特性が徐々に分かるようになるにつれ、「あれはできるんじゃないかな」「これは大丈夫じゃないか」といった工夫が出来るようになり、少しずつ前に進んでいると感じています。

とても残念なのはボランティアさんとの関わりや活躍の場が無くなってしまったことです。ソーレ平塚ケアセンターにはボランティアさんの活躍が欠かせません。コーラス、陶芸、七宝焼き、茶道華道、アモーレ、ローリングバレーボールとケアセンターに来ることの楽しみとな

っているボランティアさんと一緒に取り組む活動が何一つ出来ませんでした。今の状況が改善されて、本当の意味でのWirthコロナと言えるのはソーレ平塚ケアセンターにボランティアさんたちが戻り、歌声や笑い声があふれる時だと思います。

支援員 星野 未来



ソーレに勤めてから五年が経ちました。仕事にも慣れ、さらにレベルアップがしたいと思うようになったさなかに新型コロナウイルスが流行し、生活様式が大きく変化してしまいました。仕事も今まで通りとはいきかず、時には思い通りにいかずやきもきする事が多かったです。

賑やかなグループ活動やアクティビティが盛んなケアセンターですが、感染症対策のためソーシャルディスタンスを意識しなければなりません。「距離をとって個別活動をしていきましょう」と伝えた時の利用者さんの不安そうな表情が忘れられません。どうにかして不安な気持ちを紛らわせることができないかな、自分にできることは何があるかな、と考えた時に私は制作活動に入れました。

ついているボランティアさんと一緒に取り組む活動が何一つ出来ませんでした。今の状況が改善されて、本当の意味でのWirthコロナと言えるのはソーレ平塚ケアセンターにボランティアさんたちが戻り、歌声や笑い声があふれる時だと思います。

支援員 星野 未来



利用者 野仲 香子

私はソーレのティサービスに火、水と

来てます。賑やかで和気あいあいとした活動が好きでしたがコロナウイルスが流行してからは、密を避けソーシャルディスタンスを意識しての活動が中心となり…なんだか心にぽっかりと穴が開いてしまったように感じました。そこで人とつながりや、自分だけではなく皆さんのがいるから楽しくて自分にとつて刺激になるという事が改めて分かりました。

コロナ禍で工夫して取り入れた事は塗り絵です。私は最近忘れっぽいと感じる

制作活動の中で役割を決めたり、作るものを考えたり、職員や利用者さん同士のコミュニケーションは増えたようになります。季節ごとの制作物で部屋の壁が装飾され、なかなか外出が出来ない今だからこそ四季や行事の楽しみ方が出来ました。

『施設の中を賑やかにして暗い気持ちが少しでも晴れると良いな』

『規制の多い生活の中でも新しい事にチャレンジしてほしいな』

そんな思いを込めて、日々の活動を一緒に楽しんでいきたいです。

りたいです！



ことが多く、どうにか改善したいと自分なりに考えて始めました。今となっては趣味になっています。

コロナウイルスが終息したら、今までやっていた曜日毎の活動をみんなでやりたいです！カラオケ、アモーレ、卓上ゲーム、日帰り外出、パソコン…うーん！

いっぱいあって迷っちゃいます！それだけティサービスの活動は魅力的です。最近ではボッチャ活動を再開していく唯一の楽しみになっています。

これからもコロナに負けないようにあります！

# すこやか園

## 児童療育課

児童指導員 小俣 彩

保育士 内藤 沙織

保護者 松永 悠子

～コロナ禍で気づいたこと～

～コロナ禍の生活を通して～



すこやか園園長 藤原 雄三



児童指導員 小俣 彩



保育士 内藤 沙織



保護者 松永 悠子

コロナ禍の生活や活動について個人的に工夫していることはありませんが、一般的に行われているマスクの着用、アルコール消毒、三密回避等の基本的な感染防止策を徹底することを意識しています。

すこやか園では、感染防止対策を講じた上で事業の継続が求められていますので、マスクの着用、アルコール消毒、三密回避等の基本的な感染防止策はもとより検温、体調確認、低濃度オゾン発生装置の設置や換気等、できる限りの感染防止対策を職員一丸となつて取り組んでいます。また、地域の感染状況の把握に努め、心配される場合には、利用される方の理解を得ながら慎重に対応しています。コロナが終息したら、コロナ禍で行けなかつた旅行にでも行き、ゆっくり温泉にでも浸かりたいと思います。

コロナ禍での生活が一年を過ぎ、マスクをつけた生活や、様々な制限のある生活など、当たり前だったことが当たり前でなくなる変化を経験しました。そして、当たり前だった生活の豊かさや心地よさが身に染みました。

コロナ禍での生活が始まって「もっとよく手を洗って」「コロナだからダメ」と生活の中でのピリピリ感を娘にぶつけてしまふことが増え、つい声も大きくなつてしまい反省の日々。だから今は、自然体でいることを心がけるようにして

います。手洗い、うがい、消毒、マスク、感染症対策は大前提。でも、今できることを精一杯楽しむ。手洗いも歌をうたえば楽しくていねいにできるし、おやつも食器を変えて外で食べればキャンプ気分。

よく考えるところも当たり前のことです

が、じりじり感に覆われているところな

ことも気づけない。コロナ禍でもできることはきっとたくさんあって、いろいろな人がアイディアを出せばこれまでの

当たり前の生活を覆す豊かで心地よい生活ができるかもしない。そんなふうに考えて、今を大切に生活していきたいと

支援が提供できるよう、頑張っていきた

次男は、普段は『じろじろ』と寝転がって過ごしています。疲れて痙攣をおこしたり、よく熱を出したり、医療的ケアがあつたり…そのため、家族旅行に行くときは、次男はいつもレスパイで留守番でした。二年前から、次男も一緒に出掛けようと、山中湖やサッカーフィールド、水族館など、日帰り旅をはじめたのですが、新型コロナウイルスの感染拡大。お出掛けは、出来なくなってしまいました。

最近は、せめてご飯だけでも旅気分を楽しもうと、韓国料理に挑戦!チーズダッカルビ、チャプチエ、キムチチヂミ、チヨレギサラダ、サムゲタン、そしてマッコリ。次の週末には沖縄料理。ポークたまご、ヒラヤーチー、もずくの天麩羅を作り、あとは沖縄料理の居酒屋でティックアウト。海ブドウ、ソーキ、チャンプルー等々絶品でした。沖縄民謡も聞きたがら、すっかり沖縄旅行気分。

旅行ができるようになったら、今度は次男も一緒に、家族みんなでの宿泊旅行に挑戦して、旅先の景色を見たり、美味しいものを食べたりしたいと思っていま

# すこやか園

## 地域支援課

「コロナ禍だから見えるもの」

見えたもの

支援員 福田 勝範



「コロナ」「いろんな」「コロナ」「いろな」・・・去年から今年にかけ、この言葉をいつたいどれだけ耳にし、声に出したじだらう？未知の感染症により世界が大混乱に陥り、世の中に「不安」と「恐怖」が溢れ出した。「三密」「テレワーク」「飛沫」しかし・・・言葉も暴れだす。

ただただ、この感染症に振り回されたのか？考えさせられたのか？日本という国に振り回されたのか？未熟さを知ったのか？多くの犠牲と憤りを生み出す結果となつてゐる今日この頃である。では、私自身はどうだろうかと聞いかけてみる。何か変化はあったのか？生活リズムは変わったのだろうか？答えは「ノー」である。しかし、多くの人々、特に医療従事者や飲食店、娯楽施設等を運営する人々にはとてもなく、計り知れない苦悩と試練が与えられているにも関わらず、私は全くの無傷で平和な日々を過ごしているのである。この世というのは・・・不公平である

不公平と言えば、「東京オリンピック、パラリンピック」はどうだらう？何故「東京パラリンピック、オリンピック」ではないのだろう？どこの国での開催もこの順番に変わりはない。考えて欲しい、オリンピックの閉会式とともに、始まりのあの高揚感と興奮は薄れ、パラリンピック開会式の前に全てが終了したかのように人々の関心はガラリと移り変わってしまう。いつまでたってもパラリンピックは盛り上がらない。それ以前に、オリンピックとパラリンピックを分けて開催することに疑問を持つ者はいないのだろうか？私には、とてもなく「不満」なのである。「変えたい」のである。

それはそうと、話をコロナに戻します。「コロナ」が私の生活に何の影響も与えない理由は如何に・・・それは、楽しみや目標をいくらでも「シフト」できるからだと思つ。制限があるものに対しても、その制限から離れれば良く、規制がかかれば、規制外のものに目を向ければいい。即ち「想像力」と「発想力」の引き出しをどれだけ持ち合わせられるのか。そういうことなんだとと思う・・・。「出来ることは何か」そこに目を向けることが大切であり、それにより大抵のことは乗り越えられると考えてくる。あくまでも私個人の場合ではである。

では、仕事はどうか？感染症拡大防止対策の為のマスクや消毒、エプロンや手袋、ゴーグル、パーテーション等々・・・考え方の事はどこでも、誰もが行つておらず、決して特別な事を行つてゐる訳ではない。今はこれがスタンダードなのである。しかし、明日、明後日のスタンダードは変わるかも知れない。変わることも、変えないことも人の「感情」によるのだから・・・。

私の好きな言葉に「昨日の常識は今日の非常識、今日の非常識は明日の常識。変化を楽しみ改善を止めない」がある。この言葉はサービスにおける、はたまた人生における鉄則だと私は強く信じている。まさに「すこやか園」での支援も同じではないだろうか。「出来る」とことを一生懸命、安全に楽しく行う」ただそれだけである。例えば、利用者が毎年楽しみにしている日帰り旅行ができるなら、園内で楽しめるイベントを企画すればよし、日頃の活動が難しいのならば、それに代わるものを作成すればいい。そのような状況下で始まったのが「園芸活動」であり、その園芸と関連させた「夏祭り」。収穫祭と題した初の「秋祭り」である。「祭り」なんといい響きで、心が弾むのだろう。「楽しむこと」・・・想像力と工夫、アイデア次第で笑顔は花火の輝きを凌駕する。まさにパッションの極み・・・。

利用者 中島 盛治



常にマスクを着用し、手指消毒をして密にならないように気を付けています。終息したら、以前より計画して行きたかった飲食店に行きたいです。



今は「コロナ」で皆と会えないのでも、コロナが終わったら友達とお茶したり、カラオケに行つたりしたいです。

# しせん相談室

「コロナ禍での現状」

相談支援専門員 関 淳一



コロナ禍と言われるようになり、あつとう間に一年が経ちました。普段よりマスクをして生活することにすっかり慣れっここのご時世です。現状の相談支援事業においても、関係機関との会議などはリモートで行われるのが当たり前になり、家庭訪問の際には感染防止対策に十分配慮し、こまめなアルコール消毒や適度な距離をとることを意識するようになっていきます。またなるべく短時間での面接を中心掛け、「希望によつては、電話対応や玄関先での書面のみの対応をするなどの工夫を行っています。

感染対策を行うことで、業務はなんとか行えている一方で、同僚や職場間での交流や親睦の場をもつことができず、関係づくりの場が減つていてことを残念に感じています。同僚や関係機関などと、お互いを知る機会をもつことは、業務連携の意味合いからも非常に重要であると考えているので、コロナ禍が収束した暁には、様々な方との交流を深める時間を

相談支援専門員 関根 麻衣子



この四月から相談支援専門員として働いています。昨年度まではすこやか園児童発達支援事業で療育に携わっていました。まだまだ慣れないことも多いですが、今までの経験を活かしながら、利用者の方々の力になれたらと思っています。

さて、コロナ禍の中で、今まで当たり前にできたことが難しく、マスク生活による肌トラブルに悩まされることもしばしば…。今できる新しい楽しみを模索する日々です。コロナ禍が落ち着いたらやりたいことは沢山あって絞り切れないですが、まずは同僚や友人たちと気兼ねなく食事に行って色々と語り合いたいですね。あとはライブに行ったり、お芝居を観に行きたいです。オンライン開催も経験しましたが、経験したからこそやはり、その場に行った人しか分からない生きの音や空気感を肌で感じて、その日、その時にしか味わえない感動を日々の生活の中に取り戻していきたいなと思っています。

相談支援専門員 寺澤 亜樹子



「つながる、つなげる、つながってい る支援」を大切にしたい「しせん相談室ひらつか」としては、距離をあけて支援をすることには大変なジレンマを感じています。

デスクにはアクリル板、使用する機器や車両にはアルコールによる消毒の徹底、換気や空気清浄機の活用、職員は一日二回検温し、記録を残しております。対面する場合は、アルコールスプレーの常時携帯と、必要時にはフェイスシールドを着用し、終わったらその都度マスクの交換を行いました。持病のある利用者も多くいるため、緊急事態宣言時は訪問をやめ、電話連絡を増やしました。電話での



# しせん相談室ひらつか

やり取りは、どうしても最小限の事務的なやり取りになってしまい、説明する難しさからか、「会った時に話せばいいかな」となる方も少なくありませんでした。

このようなことから、リモートでの面談の試みも行っています。特に入所施設では、面会制限が長く続いている、リモートでの面談ができる施設も増えています。画面越しでの面談になりますが、電話だけのやりとりと違つて、笑顔が見られたり、時には悩んでいる表情なども分かつたりと、お互いに顔を合わせてお話しすることの大切さを改めて感じさせられます。

新型コロナウイルス感染症の不安の中で、大切なかかわりだからこそ、距離をとらなければならぬのが現実です。そのような中、ある事業所の職員に「出会いう難しさがあるが、だからこそしっかり関わらたい」と思える。一つの出会いの価値を感じる。関係機関が対策に最大限に配慮しながら、いかにつながろうと思ってくれていることが何より心強い。」との言葉をいただきました。

新型コロナウイルス感染症により、利用者や事業所が孤独と鬱いながら頑張っています。だからこそ、一つ一つのかかわりを大切にするためのつながりを支援



※詳細は当法人のホームページをご覧ください。

法人単位資金収支計算書  
(自)令和 2年 4月 1日 (至)令和 3年 3月31日

法人単位事業活動計算書  
(自)令和 2年 4月 1日 (至)令和 3年 3月31日

(単位:円)

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
事業活動による収支	児童福祉事業収入	210,576,864	214,408,275	△ 3,831,411	サービス活動による収支	児童福祉事業収益	214,408,275	209,887,882	4,520,393
	障害福祉サービス等事業収入	763,639,808	764,750,629	△ 1,110,821		障害福祉サービス等事業収益	764,750,629	756,497,917	8,252,712
	経常経費寄附金収入	294,000	329,000	△ 35,000		経常経費寄附金収益	329,000	841,440	△ 512,440
	受取利息配当金収入	27,034	27,912	△ 878		その他の収益	220,230	572,020	△ 351,790
	その他の収入	6,593,028	6,491,548	101,480		サービス活動収益計(1)	979,708,134	967,799,259	11,908,875
	事業活動収入計(1)	981,130,734	986,007,364	△ 4,876,630		人件費	715,625,175	725,589,933	△ 9,964,758
	人件費支出	713,658,124	711,994,580	1,663,544		事業費	102,452,323	100,001,407	2,450,916
	事業費支出	103,216,104	102,452,323	763,781		事務費	121,399,530	133,993,238	△ 12,593,708
	事務費支出	122,655,536	121,399,530	1,256,006		減価償却費	44,350,081	43,859,145	490,936
	その他の支出	4,625,710	4,679,584	△ 53,874		国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 26,497,929	△ 26,114,036	△ 383,893
施設整備等による収支	事業活動支出計(2)	944,155,474	940,526,017	3,629,457		サービス活動費用計(2)	957,329,180	977,329,687	△ 20,000,507
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	36,975,260	45,481,347	△ 8,506,087		サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	22,378,954	△ 9,530,428	31,909,382
	施設整備等補助金収入	23,825,000	25,172,768	△ 1,347,768	サービス活動外による収支	受取利息配当金収益	27,912	27,688	224
	施設整備等寄附金収入	4,000,000	4,000,000	0		その他のサービス活動外収益	6,271,318	22,457,995	△ 16,186,677
	施設整備等収入計(4)	27,825,000	29,172,768	△ 1,347,768		サービス活動外収益計(4)	6,299,230	22,485,683	△ 16,186,453
	設備資金借入金元金償還支出	500,000	500,000	0		支払利息		79,200	△ 79,200
	固定資産取得支出	47,775,150	48,081,759	△ 306,609		その他のサービス活動外費用	4,679,584	5,172,678	△ 493,094
	施設整備等支出計(5)	48,275,150	48,581,759	△ 306,609		サービス活動外費用計(5)	4,679,584	5,251,878	△ 572,294
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 20,450,150	△ 19,408,991	△ 1,041,159		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	1,619,646	17,233,805	△ 15,614,159
その他の活動による収支	積立資産取崩収入	16,100,410	19,848,910	△ 3,748,500		経常増減差額(7)=(3)+(6)	23,998,600	7,703,377	16,295,223
	その他の活動収入計(7)	16,100,410	19,848,910	△ 3,748,500		施設整備等補助金収益	25,172,768		25,172,768
	積立資産支出	19,235,750	23,732,000	△ 4,496,250		施設整備等寄附金収益	4,000,000	5,500,000	△ 1,500,000
	その他の活動による支出	208,694	208,694	0		特別収益計(8)	29,172,768	5,500,000	23,672,768
	その他の活動支出計(8)	19,444,444	23,940,694	△ 4,496,250		基本金組入額	500,000	500,000	0
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 3,344,034	△ 4,091,784	747,750		固定資産売却損・処分損	162,544	13	162,531
	予備費支出(10)		—			国庫補助金等特別積立金	25,172,768		25,172,768
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(1)	13,181,076	21,980,572	△ 8,799,496		特別費用計(9)	25,835,312	500,013	25,335,299
	前期末支払資金残高(12)	211,423,481	211,423,481	0		特別増減差額(10)=(8)-(9)	3,337,456	4,999,987	△ 1,662,531
	当期末支払資金残高(11)+(12)	224,604,557	233,404,053	△ 8,799,496		当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	27,336,056	12,703,364	14,632,692

第三号第一様式

法人単位貸借対照表  
令和 3年 3月31日現在

(単位:円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	313,311,578	284,072,521	29,239,057	流動負債	135,152,496	128,436,506	6,715,990
現金預金	159,612,775	149,851,270	9,761,505	事業未払金	19,831,033	17,701,038	2,129,995
事業未収金	136,160,035	127,393,797	8,766,238	1年以内返済予定設備資金借入金	500,000	500,000	0
未収金	385,557	264,478	121,079	未払費用	59,565,519	54,553,957	5,011,562
未収補助金	12,305,036	2,041,772	10,263,264	預り金	341,536	138,994	202,542
立替金	4,249,799	4,007,146	242,653	職員預り金	149,937	216,051	△ 66,114
前払金	19,800	0	19,800	前受金	19,500	39,000	△ 19,500
前払費用	556,736	499,218	57,518	賞与引当金	54,744,971	55,287,466	△ 542,495
その他の流動資産	21,840	14,840	7,000				
固定資産	1,049,023,324	1,042,701,996	6,321,328	固定負債	88,178,800	85,845,300	2,333,500
基本財産	586,127,666	580,907,555	5,220,111	設備資金借入金	0	500,000	△ 500,000
土地	52,510,368	52,510,368	0	退職給付引当金	88,178,800	85,345,300	2,833,500
建物	533,617,298	528,397,187	5,220,111	負債の部合計	223,331,296	214,281,806	9,049,490
その他の固定資産	462,895,658	461,794,441	1,101,217	純資産の部			
土地	3,000,000	3,000,000	0	基本金	57,826,550	57,326,550	500,000
建物	31,455,368	34,695,083	△ 3,239,715	第1号基本金	21,593,550	21,593,550	0
構築物	2,974,629	2,772,963	201,666	第2号基本金	36,233,000	35,733,000	500,000
機械及び装置	1	1	0	国庫補助金等特別積立金	467,023,528	468,348,689	△ 1,325,161
車両運搬具	11,401,925	11,578,198	△ 176,273	その他の積立金	301,621,000	301,911,000	△ 290,000
器具及び備品	16,721,996	17,518,149	△ 795,153	人件費積立金(措置)	8,000,000	8,000,000	0
権利	1,701,100	1,707,766	△ 6,666	施設・設備整備積立金(措置)	88,711,000	88,711,000	0
ソフトウェア	5,171,665	2,805,501	2,366,164	人件費積立金	36,400,000	36,400,000	0
退職給付引当資産	88,178,800	85,345,300	2,833,500	施設・設備整備積立金A	125,810,000	133,100,000	△ 7,290,000
人件費積立資産(措置)	8,000,000	8,000,000	0	施設・設備整備積立金B	42,700,000	35,700,000	7,000,000
施設・設備整備積立資産(措置)	88,711,000	88,711,000	0	次期繰越活動増減差額	312,532,528	284,906,472	27,626,056
人件費積立資産	36,400,000	36,400,000	0	(うち当期活動増減差額)	27,336,056	12,703,364	14,632,692
施設・設備整備積立資産A	125,810,000	133,100,000	△ 7,290,000	純資産の部合計	1,139,003,606	1,112,492,711	26,510,895
施設・設備整備積立資産B	42,700,000	35,700,000	7,000,000	負債及び純資産の部合計	1,362,334,902	1,326,774,517	35,560,385
差入保証金	225,000	225,000	0				
長期前払費用	444,174	235,480	208,694				
資産の部合計	1,362,334,902	1,326,774,517	35,560,385				